

進路だより

上越高等学校 進路指導部
令和2年7月3日

ハローワーク説明会が行われました

6月17日(水)、3年生就職希望者対象の就職説明会が行われました。新型コロナの影響や今後の日程、企業が求める人物像、進路決定に向けて何をしておけばよいか、など、最新の情報をハローワークの清水様よりお話しいただきました。

情報① 就職試験は10月16日開始

就職試験開始が9月16日から10月16日に延期となりました。しかし、時間的な余裕ができたわけではありません。会社見学は例年どおり夏休みに行われます。履歴書などの出願書類は夏休み中に作成します。夏休みが短くなった分、例年以上に忙しくなることが予想されます。

情報② 1回目の試験で合格を決めたい

新型コロナの影響で先の見通しが不安な状況です。そのため、1回目の試験で人材を確保し、2回目以降の募集は行わないと考える企業が多くなるとみられます。1回目の試験で合格するためには、入念な準備が必要です。

就職試験開始が遅くなったぶん、準備期間を長くとることができます。受験先を早く決めて、受験勉強や面接練習を計画的に進めましょう。

速報!
7月1日現在、多くの企業から昨年度並みの求人が出されています。中には昨年度より募集人数を増やした企業もあります。良い人材を早く確保したい、という企業の考えがうかがえます。

情報③ 「やめない」職業選択

会社をやめても転職先があるという保証はありません。やめない仕事選びをしてください。そのためには、自分自身をよく理解すること。自分の良いところも悪いところも客観的に分析して、がんばれる仕事を選びましょう。

正社員をめざそう!

求人票を見るときは、必ず「雇用形態」の欄を見て「正社員」かどうか確認してください。正社員であるかないかの違いは生涯賃金にあわられます。正社員としての採用をめざしましょう。

情報④

企業が求める人物像



企業が求めている力は、社会人として求められている力でもあります。いずれも、よく言われるあたりまえのことばかりですが、表面的な理解で満足している人が多いようです。意味と理由をよく理解し、ふだんの生活の中で意識的に身につけていきましょう。

コミュニケーション力

企業が求めるコミュニケーション力とは、誰とでもすぐ仲良くなれる力、ではありません。「相手に説明でき、相手の説明を理解できる力」「状況を的確に判断して行動する力」です。コミュニケーションとは「意思を伝えあう」という意味です。一方的ではダメです。特に製造業はコミュニケーション力が問われる職種です。

協調性

たいていの仕事はチームで行います。よい製品を作るためのチーム、プロジェクトを成功させるためのチームであって、仲良しグループではありません。気の合わない人や苦手な人がいるのはあたりまえ。同じ目的を達成するためのチームとして尊重しあえる力が求められます。

積極性

その仕事に必要な知識や技能を高めるのはもちろんのこと、アイデアや意見を積極的に提案する姿勢が求められます。不便なところを解消する工夫をする、汚れているところをきれいにする、など、些細なことが新しい提案につながります。積極性とは「気づく力」と「気づいたら行動する力」とも言えます。

挨拶

挨拶のできる人とは「自分から挨拶ができる人」のことです。挨拶ひとつでコミュニケーション力、協調性、積極性が伝わります。挨拶は先手必勝。先生方には自分から挨拶をしましょう。声をかけるタイミングや声の大きさも大事です。声が大きければよいというものではありません。

就職への意欲

働く意欲が感じられなければ採用されるはずありません。なんのために働くのか、働いて何をしたいのか、それを実現できる会社はどこか、具体的に言えるようにしましょう。

言葉づかい

ただ丁寧な言葉を使えばよいということではありません。場面や相手に応じた「適切な言葉」を「誠実な態度」で使う、ということです。適切で誠実な姿勢はその人の価値を高めます。先生方と“タメグチ”で話している人がいますが、親しき仲にも礼儀あり。

基礎学力

基礎学力があるのは大前提です。就職試験では高校1年～2年の学習内容と、基本的な計算や漢字などの「本当の基礎」が問われます。授業をしっかりと受け、家庭学習で学力を定着させることはもちろんのこと、新聞や本を読んで語彙を身につけたり、計算ドリルを多くこなしたり、自主学習で本当の基礎学力を強化していきましょう。

学校生活で身につけてほしいこと

時間を守る（遅刻をしない）
挨拶は自分から
きまりを守る
朝食をきちんと食べる

